

◇「ナゼスタイル」は長岡で頑張る企業・起業家を応援するフリーペーパーです。(季刊誌発行)

Nagaoka Activation
Zone of Energy

vol.62

20180104

NAZE style

FREE
0円



CONTENTS :

新年のごあいさつ

新会員企業のご紹介

豪技開発秘話 (株)大原鉄工所
「小型バイオガス発電システム③」

全体会議

NAZE NEWS

会員トピックス「会員紹介Advance」

展示会パネルディスカッション

新春のごあいさつ

NPO 法人長岡産業活性化協会 NAZE 会長 小西 統雄

(株)小西鍍金 技術顧問



あけましておめでとうございます。

世界中が明るいニュースに溢れる一年となるように期待しております。

さて、NAZEの会員数はこれまでで最多となる80会員を超えました。このことは、会員の皆様の要望をお聴きしながら、IoTやAIに関するセミナーの開催など、その時々合った事業を積極的に展開してきた成果であると思っております。

平成30年度は、NAZEが認定する「豪技」や、会員企業と学生が連携して取り組む「魅せるモノづくり」などにより、長岡地域の優れたモノづくり技術・製品を積極的に発信していく予定です。

あわせて、「小学生工場見学バスツアー」や、長岡市・長岡商工会議所ともに開催する「長岡開府400年記念！長岡ものづくりフェア」などをとおして、未来を担う子どもたちに長岡地域の優れたモノづくり技術・製品をPRすることにしております。

これまで以上に、支援機関をはじめ、市内3大学1高専、金融機関の皆様などと強いに連携させていただきながら、長岡版イノベーション推進の一翼を担ってまいりたいと考えております。

会員の皆様及び、NAZEを支えてくださる多くの皆様の益々のご健勝とご隆盛を祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

新春のごあいさつとNAZEへの期待

長岡市長 磯田 達伸



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

NPO 法人長岡産業活性化協会 NAZEの皆様におかれましては、長岡地域産業のさらなる発展に向けて、産学官連携の推進、技術力向上、市内外への情報発信、人材育成と、積極的に様々な活動へ取り組んでいただいています。今年度は、展示会への共同出展やチャレンジ事業、NEXT道場などの取組みに加え、新たにIoT活用促進についても取り組んでいただきました。地域経済全体を支え、さらなる活性化に繋がる積極的な姿勢に、心より敬意を表します。

さて市では、英知を結集しよりよい社会を先取りするとともに、産業の活性化と、若者が希望を持って働ける場の創出を目指す「長岡版イノベーション」に挑戦します。

そのような中で、IoT・働き方改革・インターンシップ・事業承継といった、さまざまな産業界の課題や新しい動きに対して、多様な立場の方が集まり、力を合わせて立ち向かう動きがはじまっています。

昨年、当市のIoT導入推進の取り組みが、経済産業省の「地方版IoT推進ラボ」に選定されました。貴会からも参画いただいているこのラボは、市外の会社からのシステム購入ではなく、市内のIT業者やデバイスメーカーがチームを作り、市内企業のIoT導入を支援する「地域循環型」が特徴で、既に数社のIoT導入に向けた支援を行っています。

また、産学官金での人材育成や産業振興を支援する機能や事業について、3大学1高専が結束し「NaDeC (ナデック) (Nagaoka Delta Cone) 構想」として提案いただきました。今後、産業界と一緒に取り組めるものから活かしていきたいと考えております。

2018年は長岡開府から400年の節目の年を迎えます。時代の変化に向き合い乗り越えるための「人づくり」と「まちづくり」こそ、今の長岡が取り組むべきことです。長岡出身の成功者の力を借りて、子ども・若者から大人まで切れ目なく様々な機会をつくり、プログラミング教育や若者の起業・創業支援、そして最先端のAI技術やデザイン思考の導入促進など、新しい時代を担う長岡の人材を養成します。皆様と一致団結して「新しい米百俵」を創っていきたいと考えておりますので、ご理解と積極的なご参加をお願い申し上げます。

長岡市は、今後も地元企業を更に力強く支援する決意です。貴会におかれましては、市の産業振興の強力なパートナーとして、引き続き連携・協力をお願いいたします。

新春にあたり、貴会並びに会員企業のますますのご発展と、今年一年が皆様と産業界にとって素晴らしい年になりますよう祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

NAKAJO (株) 中條製作所

〒940-0012 新潟県長市下々条1丁目136番地
Tel: 0258-24-1034 Fax: 0258-24-1026
E-mail: business@nakajo-seisaku.co.jp
URL: http://www.nakajo-seisaku.co.jp/

この度NAZEに入会させていただきました株式会社中條製作所と申します。弊社は昭和34年、長サ計製造業として三条市で創業致しました。当初はスケールやダイヤルカラーなど測量機の見盛り彫刻に特化した小さな工場でした。その後、長岡市に移転し販路を拡大。昭和47年には株式会社中條製作所として法人設立致しました。

「ニーズのある所にはどこへでも駆けつける」という方針を掲げ、今では県内だけでなく東北、北陸、関東、東海、関西方面にも販路を拡大し、おかげさまでお取引様との信頼関係を結ばせていただいております。

大手工作機械メーカー、産業機械メーカーとの取引は加工分野、組立分野までの一貫作業で、中條品質とは決して妥協を許さない品質基準で臨んでおります。

今回NAZEに入会させていただくことにより「新技術開発」「情報発信」「連携強化」「エリアブランド構築」などNAZEの掲げておられる「魅力ある企業をめざして」弊社も僭越ながらモットーとし、関係機関のみな様方のお力添えをいただき、更なる飛躍ができればと思っております。



連載 豪技開発秘話

「豪技2017」に認定された、技術・製品の開発秘話を連載します。

小型バイオガス発電システム

vol.3/3

株式会社 大原鉄工所

代表取締役 大原 興人

〈トラブル発生！〉

ガスミキサーの仕様が決まり、3ヶ月の連続運転でも安定した運転と効率を見せるようになっていたバイオガス発電機。ところがある日突然出力が出なくなってしまう。開発時に調整した項目を再度洗い直しても改善がみられず頭を悩ませる日々が続きました。順調に進んでいた開発にブレーキがかかります。

〈解決の鍵はベテランスタッフの言葉から〉

そんな中、エンジンは「良い圧縮・良い点火・良い燃焼」が揃っていればどんな燃料でもうまく回るはず、というベテランスタッフの言葉から、エンジンの基本に立ち返って見直したところ、圧縮がおかしくなっていることがわかりました。そこでエンジンを工場に引き上げて点検したところ、エンジンの気密性を保つ部品に問題が発生していたことが明らかになりました。原因はディーゼルとバイオガスの性状・燃料特性の違いによるものでした。無事バイオガスの特性に適した部品を見つけることができたものの、小ロット生産であるバイオガス発電機に協力してくれるメーカーを探すのは簡単なことではなく、この問題の解決は2つ目の山場だったといえます。

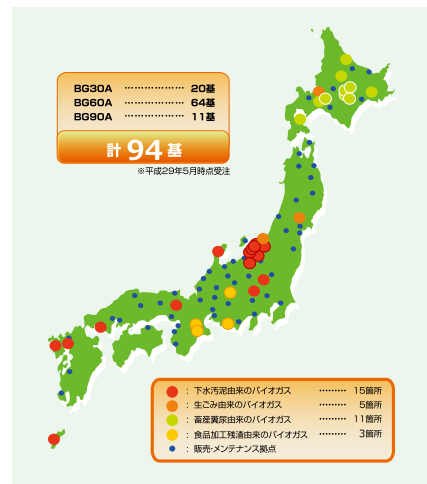
〈開発を終えて〉

このような試行錯誤を経て開発は無事完了し、小型（100kW以下）のバイオガス発電機においては国内トップクラスの発電効率35%を実現することができました。

また、効率が良いだけでなく市販のディーゼル発電機をベース機としているため部品の入手がやすくメンテナンス性の高い点も特徴です。

現在では3機種をラインナップし、出荷台数も94台を達成しました。当初の開発目的であった中小規模の下水処理場だけでなく畜産ふん尿や食品加工残渣を由来とするバイオガスプラントにも採用され納入先も全国に広がりを見せています。

バイオガス発電システムの発電は当社にとって新しいチャレンジでしたが、あらためて振り返ると開発を支えたのはこれまでの事業で培ってきた技術とノウハウであったことに気付かされました。これからも積み重ねてきた技術とノウハウを大切にしながら地域と環境に貢献出来る新しいビジネスにチャレンジして参りたいと思います。



導入実績



食品加工残渣由来のバイオガスで稼働中の発電システム

12月
12日
(火)

「展示会活用セミナー」 「展示会パネルディスカッション」 「全体会議」 を3本連続開催！

展示会・見本市の効果的な活用方法を学ぶ 展示会活用セミナー「展示会で成果を上げるためのポイント」

日本最大の展示会・見本市運営企画企業であるリードエグジジションジャパン株式会社 取締役／機械要素技術展 事務局長の藤原 武史 氏をお招きし、同社が長年にわたり展示会を開催されてきた経験から、中小のモノづくり企業が展示会で成果を上げるための方法・ポイントについてご紹介いただきました。

当日は、実際に展示会に出展して大きな成約を上げられた企業と成果をなかなか上げられない企業を事例に、具体的にどこが良くて悪かったのかを比較しながら、わかりやすくご説明いただきました。(聴講者74名)



展示会パネルディスカッション「ベテラン出展社から学ぶ 出展の秘訣」 ～ベテラン出展社とルーキー出展社との対談～



展示会への出展は、販路の開拓や新たなビジネスチャンスの創出に有効な手段といわれていますが、その一方で「負担が大きい」「成果がはっきりしない」「出展する事に不安がある」などの理由により、消極的な企業が多いことが実情であります。その様な中、実際に長岡から各種展示会へ多く出展いただいている「ベテラン出展社」と、昨年・今年から出展された「ルーキー出展社」のご担当の方から「パネリスト」になっていただき、出展経験が少ない企業が抱える「展示会出展における課題・悩み」等に対して、ベテランから経験を踏まえたアドバイスをいただきました。

また、ディスカッションの中で、「展示会出展により社内で変わったこと」「長岡地域一体で長岡をPRし、成果を上げていくための方法」などについても意見交換をし、最後にまだ展示会に出たことのない企業・今後出展を検討している企業に対して、魅力やメリットをお話いただきました。(聴講者82名)

コーディネーター



(株)アルモ
柴木社長

パネリスト



長岡スプリング(株)
山崎社長



(株)長岡歯車製作所
加納常務



(株)オオイ
市川係長



(有)大塚木型製作所
矢代専務



(有)小林超硬研磨
今枝社長

NAZE事業活動の情報共有と一層の活性化を目指して 平成29年度「全体会議」開催



平成29年度「全体会議」を開催し、日頃から活動をご支援いただいている行政・支援機関の皆様からもご出席いただき、本年度これまでの活動や成果などを報告しました。

また、ご出席いただいた関東経済産業局 地域振興課係長の竹田様から、国が検討している今後の施策の概要等について、ご紹介いただきました。(出席者79名)

NEXT道場 修了

後継者・経営幹部候補者のための経営塾「NEXT道場」は11月21日に全13回を修了しました。皆様、ご苦労様でした。

NEXT道場に参加しての感想

平日頃、業務に追われて目の前の仕事をこなしていくのが手一杯で、今後、会社を経営していく上での考え方や進め方など、一番勉強しなければならぬことがおざなりとなっていました。今回このような勉強会があることを知って、いい機会だと思い参加させていただきました。

各カリキュラムの内容は、普段意識していなかったことに気付かされたり、日頃悩んでいたことのヒントを得たり、また、今後銀行に融資をお願いするときに必要な知識や実践的な模擬体験など、大変参考になりました。

また、他の受講生と知り合えたのが大きな収穫で、同じ立場の人、同じ悩みを抱えた人たちと意見を交わし、情報交換できたのもこの道場に参加したおかげだと思っています。

あっという間の半年間でしたが、大変充実した講義でした。今後の仕事で生かしていきたいと思っています。桑原塾長、及び各講師の方々本当にありがとうございました。

株式会社オータニツール 専務取締役 大谷秀利



NAZE交流塾 修了

11名の参加者とともに、7月21日からスタートした交流塾は、12月8日で修了式を迎え、全10回を終了しました。今年度はモーガン講師の勧めで、テキストブックを変更し、予習も加えました。また、日本人が苦手とする前置詞や発音と記号の確認、ニュースや動画のヒアリングを取り入れました。塾生からドイツ視察の内容を、英語で発表して貰う等、新たなプログラムに挑戦しながらも、非常に良いムードのクラスになりました。皆さんありがとうございました。

継続した自分を誉めたい

とにかくその日の朝は憂鬱な気分が充満する。その日は交流塾の開催日だ。勉強しようと意欲を持ってエントリーしたのに、「これは一体どうしたことかと思う」が心はそうなのだ。

午後4時30分ころ会社を出て会場に向かう。車内では今日の英会話をCDで繰り返し聴いた。途中にあるタリーズコーヒーに寄って30分ほどテキストで予習をした。「よしこれでオーケー。良く分かった。」と意気ようようたる気分になる。

教室に入る。モーガン先生に「Good Evening」とカラ元気のないさつをし、スタッフの真理さん、白井さん、仲間たちにも「こんばんは」とあいさつする。授業が始まると憂鬱な気分は晴れるが、予習の甲斐もなくしどろもどろの英会話となる。モーガン先生の明るさと仲間の思いやりが私を助けてくれる。そのため授業そのものは面白く楽しいのだ。間違ってもよいという雰囲気があり、気を楽しんで英会話ができる。この点が交流塾の良さであった。欲を言えば私にもう少し会話をしようという度胸がつけば良かったのだが。

10回の授業日数のうち9回出席した。「憂鬱でなんだか嫌だなあ、行くのやめようか」の気持ちにけりをつけて出席した。自分のふがいなさを見たくなかったから。何よりも自分に自信を持ちたかったからというのが理由だろう。そんな自分を私は誉めてやりたいと思う。

そして気づいたこと。ChanceがあったらとにかくChallengeしてみる、きっと変わった風景が目前に現れてくるはずだ。交流塾もその一つかもしれない。

最後に真理さんのビデオで教えてもらったこと。Steve Jobsの「Stay Hungry. Stay Foolish」＝「ハングリーであれ。愚か者であれ。」スタンフォード大学の卒業式でのスピーチであるが、私もこのように人生を送りたいと思う。

久保誠電気興業株式会社 取締役副社長 久保 誠

NAZE交流塾に参加して

英語を早々「ドロップアウト」した学生時代、卒業の際に柳沢慎吾張りに「英語!あばよ!!」と啖呵を切った卒業式。もう英語とは「お別れ」できると思っていました。

しかし、アイパッチをキメた「蛇」の名を持つアンチヒーローの出る映画や、強酸性の血液を持つ宇宙肉食獣をジェノサイドする映画やら、巨大なゴリラがティラノサウルスと大バトルする映画達をこよなく愛している私はあるコトに気が付いた(高嶋政伸口調で)「姉さん!大変です!登場人物、全員英語話しています!」と・・・。

そんな英語と全くお別れ出来ずに社会人生活を続けて十余年、某プロゴルファー御用達の英語教材(CD聴き続ければ話せる様になるってヤツ)を購入しようか地味に迷っていた矢先、NAZE交流塾の英語講座を紹介されました。

少し緊張しつつ第1回の講座に参加してみたが、堅苦しさは全く無く、ざっくばらんな感じで私の様な「イングリッシュ・ドロップアウト」でもリラックスして参加出来ました。

海外にて実際に「ありうる状況」を「話してみよう」「聞いてみよう」と言う内容でとても楽しく英語に触れる事が出来ました。しかし、「単語が出て来無い・そもそも語彙が無い」と言う致命的過ぎる自分の弱点も露骨に判明しました。

講座は全10回で残念ながら参加できない時もありましたが、とても楽しく・脱落する事無く無事修了する事が出来ました。これを機にもっと英語に触れて行きたいと思います。

いつもユーモア魂全開のモーガン先生、ミスってしまう私をフォローして下さった他の受講生の皆さん、そしてNAZE事務局の皆さん有難うございました。

株式会社片山板型製作所 製造課第二係 小方邦弘



現場改善による生産性向上と企業力強化のための 「長岡ものづくり現場改善インストラクター養成スクール」修了

7月6日～10月12日の間の計16日間(計112時間)

ものづくりの現場において、改善活動を実践できる人材を養成するため、生産管理・現場改善に関わっている方を対象に実施してきた「長岡ものづくり現場改善インストラクター養成スクール」を10名の方が修了しました。

最終日には、会員企業3社(イトーキマルイ工業㈱、㈱小林超硬研磨、エヌ・エス・エス㈱)の協力により実施した現場実習の成果発表を行いました。

長岡ものづくり現場改善インストラクター養成スクールの受講を終えて

16日間の全日程を終え、無事スクールを修了することができました。その中で、最も密度の濃いカリキュラムだったと私が感じているのは、何と言っても、受入先企業様における現場改善実習です。一時はどうなることかと思いましたが、講師の先生方の熱いご指導とチームの固い結束力で、なんとか受入先企業様への改善提案の発表にこぎ着けられました。それまで全く接点のなかった、業界も職種も異なるメンバーと協力し合い、寝る間を惜しんで奮闘した経験を、決して忘れることはないでしょう。

また、スクール修了後も、受講生の所属企業見学会や実習先の企業の皆様との懇親会が開催されるなど、改善を通じたネットワークの輪が広がっています。最後に、懇切丁寧にご指導いただきました講師の先生方をはじめ、現場実習でお世話になったイトーキマルイ工業株式会社の皆様、NAZE関係者の皆様、そして共に学んだ受講生の皆様に、あらためて感謝の意を表します。

小川コンベヤ株式会社 製造部 設計課 千蔵隆信



県外企業見学会(京都) 開催

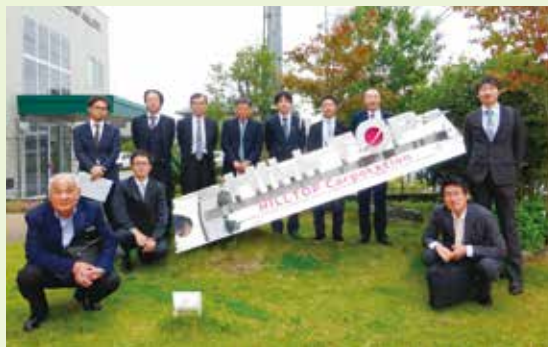
10月19日～20日

NAZE 県外企業見学会に参加して

この度、HILLTOP(株)見学会へ参加致しました。今回一番興味を魅かれた事は、加工ノウハウや技術情報のナレッジ化が進んでいる点でした。専属SEが、生産管理システムからCAMソフトの開発まで社内で行い、常にアップデートしているとの事。これにより若手社員が早期に戦力として活躍しており、皆さんが自信を持って仕事を楽しんでいる様に感じました。また、副社長の「買って来たシステムは導入した瞬間から陳腐化する」と言う言葉がとても印象に残っています。

見学を通し、自社でIoT化等を検討するには、システム技術等の知識が圧倒的に足りないと感じ、本格的に学習を始めるきっかけになりました。

株式会社社長岡金型 金型事業部 高坂 壮



近隣企業見学会開催 11月1日

近隣企業見学会に参加して

11月1日に、NAZE 交流部会主催による「エアマン」ブランドで有名な北越工業(株)本社工場と新潟東港コンテナターミナルを見学しました。北越工業(株)の独自の「連番生産方式」という少量多品種に対応した混流の1個流しの生産ラインは実に見事! 謂わば軽自動車とトラックが同じラインで混ざって1台ずつ流れているラインです。全部品が連番で同期して流れて、工程管理はネットワークで構築され、作業手順もナビシステムで画面指示されていました。IoTの先取りされたラインに感銘した次第です。「新潟東港ターミナル」では、施設や現状の実働状況を細かく紹介頂き、環日本海域での貿易の優位点を認識できました。今回は、トレンドのIoTを既に活用されているラインとグローバルの一環を見学でき、とても有意義でした。感謝します。

株式会社大菱計器製作所 代表取締役社長 島津克吉



3部会合同部会・産学連携講演会 開催

11月28日(金)に長岡技術科学大学大学院 電気電子情報工学専攻 電子デバイス・フォトニクス工学講座教授 河合晃氏から「就活から起業まで ～学生指導の現場より～」という演題で約1時間のご講演をいただきました。長岡技科大の教育課程・専攻の説明。大卒求人倍率の推移。若者の価値観の変化→量より質を優先する方向へ。新卒社員は3年以内で、3割辞める。新潟県の地元残留率は68.2%(意外な数値)など最近若者の就職に対する価値観の変化をデータにより、解析してもらいました。

他に先生のご専門のナノ・マイクロシステム工学研究室の取組の説明及び起業された「アドヒージョン株式会社」の事業内容の説明など、非常に興味深い講演でした。



クリスマスに「会員企業若者交流会」を開催!

12月22日(金)長岡駅大手通近くのレストラン「ITAMARU」を会場に、7月の七夕に引き続き、会員企業の若者に「交流機会・出会いの場」を提供する、「クリスマス若者交流パーティー」を開催。

NAZE会員企業・支援機関等から26名が参加し、互いの情報交換や交流を深められました。

また、今回の開催をご縁に、新たに1組のカップルが誕生しました!



『燕三条ものづくりメッセ2017』で長岡のモノづくりをPR! NAZEとにいがたナノ基盤技術実践会のブースを出展

10月26日(木)～27日(金)の2日間、燕三条地場産業振興センターで開催された「燕三条ものづくりメッセ2017」へ、NAZEとNAZEが事務局を務めている「にいがたナノ基盤実践会」のブースを出展しました。

2日間の会期で11,267名が来場され、「会員企業ガイドブック」や各会員の「企業パンフレット」、ナノテク技術の展示パネル等で、NAZEと会員企業、長岡地域のモノづくり企業とその技術・製品、ナノテク技術をPRしてまいりました!



鉄道業界へNAZEと会員企業を強力にPR! 『第5回鉄道技術展』へNAZEブースを出展

鉄道業界へNAZEと会員企業を強力にPRすべく、11月29日(水)～12月1日(金)の3日間、幕張メッセで開催された日本最大級の鉄道技術の祭典「第5回鉄道技術展」へ、長岡ブース「長岡ものづくりゾーン」(長岡ものづくりネットワーク主催)で、市内製造業5社とともにNAZEブースを出展しました。

会場へは3日間の会期で鉄道関係の大手メーカー・バイヤーなど32,283名が来場されました。燕三条と同様に「会員企業ガイドブック」と各会員の「企業パンフレット」で鉄道業界をはじめとする多くの来場者の皆様に、NAZE会員企業はもちろん、長岡地域のモノづくり企業とその技術製品をPRしてまいりました!



平成29年 秋の叙勲で「旭日単光章」受章!

(株)サンシン代表取締役会長 細貝信和氏が、平成29年秋の叙勲で「旭日単光章」を受章されました。「旭日単光章」は、各分野における顕著な功績のあった方を称えるものです。「テープ研磨装置」を先駆的に手掛け、業界をリードされてきた功績が認められたものです。細貝会長は、「モノづくりを生業にしてまだまだ歴史が浅い中で、このような素晴らしい章をいただいたことは大変名誉なことです。」と感想を述べられました。細貝会長によると、平成29年秋の叙勲では、全体で4,103名が受章された中、旭日単光章の受賞者は179名で、その内「モノづくり」の功績で受章された方はさらに数少ないとのことでした。

昭和50年当時某企業から「日本初ラッピングフィルム製造開始」との業界新聞一面の広告記事を観て、早速某企業に連絡、担当者と翌日には打ち合わせ開始、同研磨テープを使った装置担当として、今日の礎を創ることになりました。当時は、アナログ全盛期で各種磁気ヘッド・磁気デスク研磨装置を全国展開しました。その後、世の中がデジタル時代に突入、大きく時代が変動期に入ります。また、同製造部隊の海外展開で景気の「大きな波」をうけることになり、当時環境問題が世間の話題になっていた自動車業界に大きく舵を切ることになります。同社工法が車載用各種部品の高精度化によりCO₂低減・燃費向上が確認され、今日の隆盛に繋がって行くことになります。

現在では、同社の「テープ研磨装置」は業界をリードする存在となり、主力製品になっています。また、「少数精鋭・高付加価値化・高利益・高分配」をモットーに、売り上げを順調に伸ばし、製造業では珍しい高い利益率を確保し、経営状態や従業員のモチベーションが非常に良い状況とのことでした。「健全な経営状況やこれまで国の補助金等を活用させて頂き頑張ってきたことが目に止まって推挙されたのかもしれない。」と語られました。

平成28年10月1日に、現社長の細貝晃司氏へ、社長の座を譲られた細貝会長ですが、常に次代を見据えて社長をサポートされています。今後は、「自動車業界が『エンジン』から『モーター（電動）』にシフトし、自動車の部品数も4割位に減ると言われている中、『電動化』に乗り遅れないようにしたい。」と語る細貝会長。かつて培った「電子産業」のノウハウを活かし、既に新たな製品開発にも着手されているとのこと。また、「『電動化』の時代だからこそ、より一層、高精度な部品が求められるので、一層高精度・高付加価値のある『装置』を提供していきたい。」と今後の熱い思いを語っていただきました。

(取材：事務局 渡貫大介)



NAZEは現在80会員!

法人75・個人5

(株)アサヒプレジジョン
 飛鳥運輸(株)
 (株)アドテックエンジニアリング
 (株)アルモ
 (株)アンドウ
 (株)イトラスト
 (株)池田機工
 イトーキマルイ工業(株)
 エヌ・エス・エス(株)
 (株)N D C
 (株)エム・エスオフィス
 (株)オオイ
 (株)大善

(株)オータニツール
 (株)大原鉄工所
 (株)大菱計器製作所
 小川コンベヤ(株)
 (株)片山技型製作所
 (株)カバサワ
 久保誠電気興業(株)
 (有)倉品鐵工
 クリーン・テクノロジー(株)
 クリエイトエンジニアリング(株)
 (株)クワバラ
 (株)小西鍍金
 (有)小林超硬研磨

(株)サカタ製作所
 (株)佐藤板金
 (株)サンシン
 JPC(株)
 (株)システムスクエア
 (株)七里商店
 (株)シナダ
 (有)シンエー木型工業
 (株)鈴民精密工業所
 (株)大光銀行
 (株)第四銀行
 第四電設(株)
 (株)タカキ

(株)タカハシ
 中越鋳物工業協同組合
 テラノ精工(株)
 (株)トーエイ
 (株)東洋冶金
 ナウエス精工(株)
 (株)長岡金型
 長岡技術科学大学
 長岡工業高等専門学校
 長岡信用金庫
 長岡造形大学
 長岡大学
 長岡電子(株)

(株)永島工機
 (株)中條製作所
 (株)中津山熱処理
 (株)ナノテム
 (株)難波製作所
 (株)ネオス
 (株)波多製作所
 (株)パートナーズプロジェクト
 (株)林メッキ工業所
 (株)BSNアインネット長岡支社
 (株)淵本鋼機
 古川機工(株)
 (株)プレテック・エヌ
 (株)北越銀行
 (株)ホクギン経済研究所
 北陽精工(株)

マイテック(株)
 マコー(株)
 (株)丸栄機械製作所
 (有)毛利製作所
 ユニオンツール(株)長岡工場
 吉井国際特許事務所
 (有)若月鉄工所

古口 日出男
 高田 孝次
 野中 敏
 廣井 晃
 柳 和久

(H30.1.4現在)

長岡で頑張る企業、起業家を応援します!



くわしくは → <http://www.naze.biz/>

●記事内容についての感想をお待ちしています!

Nagaoka Activation Zone of Energy
 長岡産業活性化協会 NAZE

〒940-2127 新潟県長岡市新産4丁目1番地9 NICO テクノプラザ内 NAZE 事務局
 TEL : 0258-42-8700 FAX : 0258-42-8701 E-mail : info@naze.biz

印刷：(有)めぐみ工房

